

参天製薬株式会社 決算説明会

2016年度第1四半期連結業績概要



2016年8月2日

常務執行役員

チーフ・ファイナンシャル・オフィサー（CFO）

兼 財務本部長

越路 和朗

SANTEN PHARMACEUTICAL CO., LTD.

参天製薬の基本理念

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、それによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

長期的な経営ビジョンと成長目標

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現

- 真の顧客ニーズ*を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

2013

前中計終了時点

国内の更なる基盤強化
アジア・欧州展開準備完了

グローバルTOP5
海外売上比率16%

2017

中期的な目標

アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

海外売上比率30%

2020

Santen

2020年までに目指す姿

“世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー”

グローバルTOP3以内
海外売上比率40-50%

*真の顧客ニーズ： 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ

2016年度 第1四半期 連結業績概要

2016年度 第1四半期 決算概況

■ 前年同期比 コアベースで増収増益

■ 国内事業

- 薬価改定と抗リウマチ事業譲渡の影響を吸収し、医療用医薬品事業は同4%増収
- 新製品群が大幅増収、長期収載品は予算を上回る着地
- OTCはインバウンド需要の伸びが鈍化傾向にあるが、二桁増

■ 海外事業

- アジア：円高で同5%減収
- 中国：現地通貨ベースでは同18%増収と好調を維持
- 欧州：Ikervisや米国メルク社からの承継品が順調、現地通貨ベースで同37%増収

2016年度 第1四半期 決算概要

(コアベース)

(単位：億円)	2015年度 第1四半期 実績	2016年度 第1四半期	
		実績	対前期増減率
売上収益	480	500	+4.2%
営業利益*	122	124	+1.2%
当期利益	82	88	+6.8%

(IFRSベース)

営業利益	108	108	+0.1%
当期利益	75	73	▲2.9%

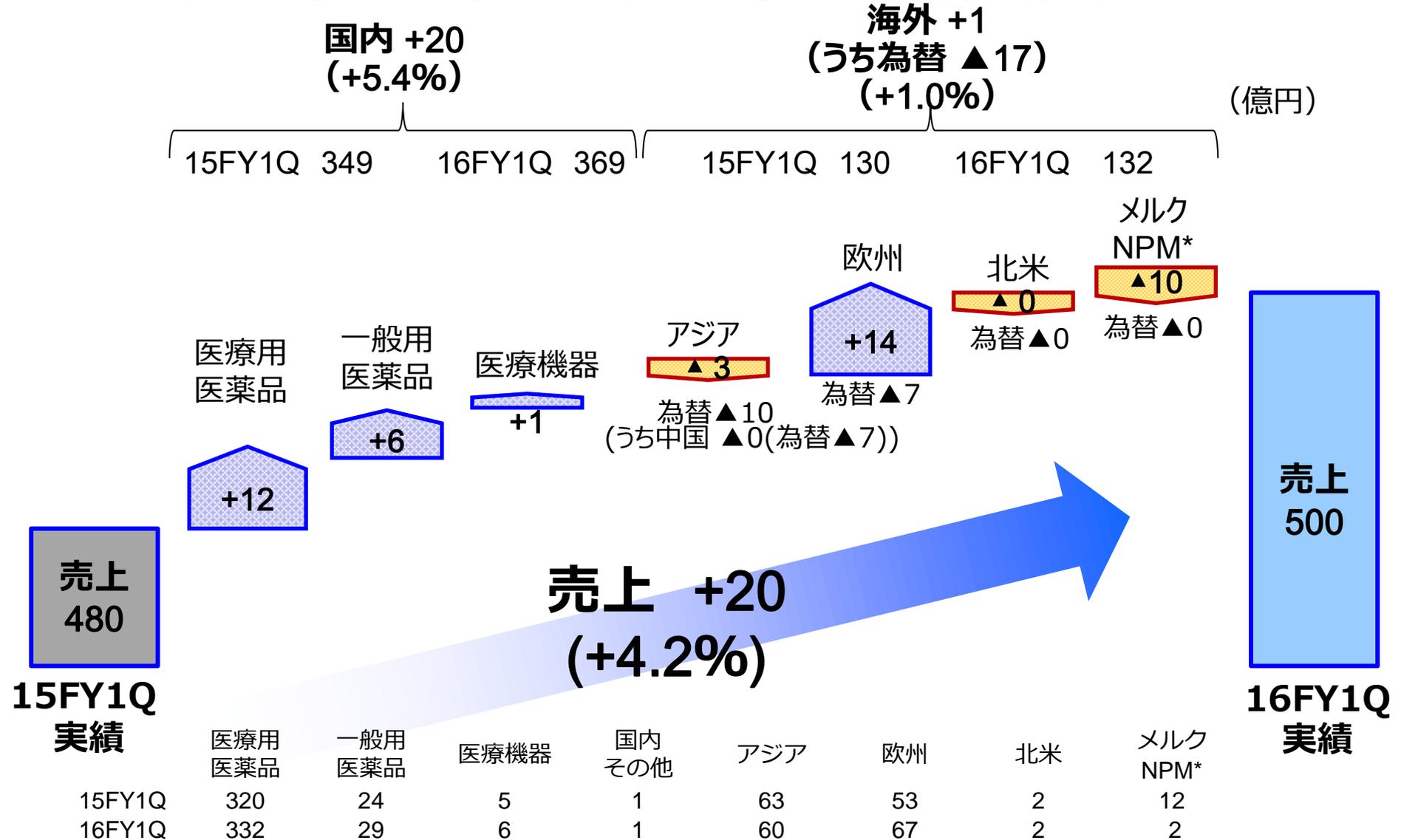
* コア営業利益 = 営業利益 + 製品に係る無形資産の償却費 - その他収益 + その他費用 (24ページ参照)

純損益計算書の要約差異

(単位：億円)	2015年度 第1四半期 実績	2016年度 第1四半期		主な差異要因
		実績	対前期 増減率	
売上収益	480	500	+4.2%	
売上原価 (対売上収益比率)	▲179 37.2%	▲184 36.8%	+2.9% ▲0.5pt	品目構成の変化 ・国内 ▲1.5pt ・海外 +1.0pt
販売費及び一般管理費 (対売上収益比率)	▲133 27.8%	▲141 28.2%	+5.9% +0.4pt	・国内 ▲6億円 ・アジア ▲5億円 ・欧米 +1億円
研究開発費 (対売上収益比率)	▲46 9.6%	▲52 10.3%	+12.5% +0.8pt	・国内 ▲1億円 ・海外 ▲4億円
コア営業利益 (対売上収益比率)	122 25.4%	124 24.7%	+1.2% ▲0.7pt	
製品に係る無形資産償却費 (対売上収益比率)	▲14 3.0%	▲16 3.2%	+10.8% +0.2pt	
その他の収益	1	1	-	
その他の費用	▲1	▲1	▲11.4%	
営業利益 (対売上収益比率)	108 22.5%	108 21.6%	+0.1% ▲0.9pt	
コア当期利益	82	88	+6.8%	
当期利益	75	73	▲2.9%	

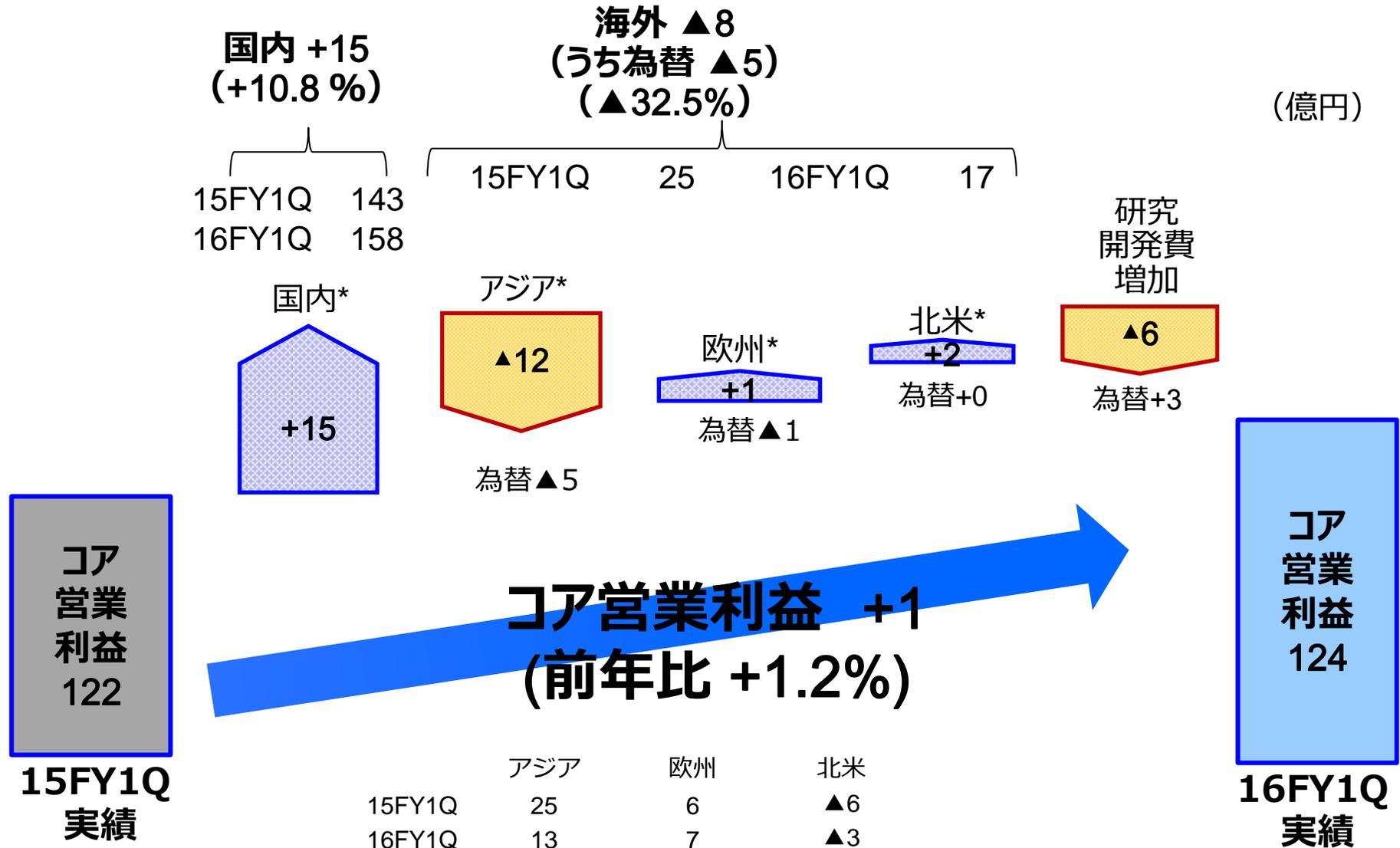
<為替レート>	15FY1Q実績	16FY1Q実績
US \$	JPY 121.51	JPY 108.83
Euro	JPY 134.01	JPY 122.53
中国元	JPY 19.81	JPY 16.63

2016年度 第1四半期 売上収益の増減内訳



*NPM (Net Profit Margin) : 販売承認の移管が未完の製品で、米メルク社に販売を委託しているものについての収入

2016年度 第1四半期 コア営業利益の増減内訳



*当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。メルク案件に伴うNPMは、関連する地域別事業に振替済み。

海外売上・営業利益

(単位：億円)	2015年度 第1四半期 実績	2016年度 第1四半期 実績		
	売上収益	売上収益	対前期 増減率	営業利益***
北米	14*	4*	▲70.7%	▲3
欧州	53	67	+26.7%**	7
アジア	63	60	▲4.8%	13
中国	36	36	▲1.1%**	
合計	130	132	+1.0%	17

海外売上収益比率	27.2%	26.3%	▲0.9pt	
----------	-------	-------	--------	--

* メルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 現地通貨ベース対前期増減率：欧州+37.0%、中国+17.7%

*** 当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。メルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替済み。

2016年度 通期業績予想の修正について

2016年度 業績予想の修正 概要

- 為替の影響と2016年7月に発表した米国InnFocus社買収の影響を考慮し、業績予想を修正
- 売上収益 ▲40億円
 - 為替の影響により減少（2,040億円→2,000億円）
- コア営業利益 ▲19億円
 - 為替レート見直しによるコア営業利益に与える影響は無し
 - InnFocus社の連結化により、費用（販管費や研究開発費等）が19億円増加

※ 現時点で買収事業の会計処理については検討中のため、大幅に乖離が生じる場合には速やかに開示します。

2016年度 業績予想の修正 純損益計算書

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度				
		前回予想	為替レート 変更の影響	InnFocus社 買収の影響	修正予想	対前期 増減率
売上収益	1,953	2,040	▲40	-	2,000	+2.4%
売上原価 (対売上収益比率)	▲728 37.3%	▲780 38.2%	+15	-	▲765 38.3%	+5.0% +1.0pt
販売費及び一般管理費 (対売上収益比率)	▲594 30.4%	▲595 29.2%	+15	▲10	▲590 29.5%	▲0.7% ▲0.9pt
研究開発費 (対売上収益比率)	▲200 10.2%	▲205 10.0%	+10	▲9	▲204 10.2%	+2.1% ▲0.0pt
コア営業利益 (対売上収益比率)	431 22.1%	460 22.5%	0	▲19	441 22.1%	+2.3% ▲0.0pt
販売費及び一般管理費(ノンコア)	-	-	-	▲6	▲6	-
製品に係る無形資産償却費 (対売上収益比率)	▲62 3.2%	▲71 3.5%	+1	-	▲70 3.5%	+12.8% +0.3pt
その他の収益	450	-	-	-	-	-
その他の費用	▲17	▲2	-	-	▲2	▲88.1%
営業利益 (対売上収益比率)	802 41.1%	387 19.0%	+1	▲25	363 18.1%	▲54.7% ▲22.9pt
コア当期利益	292	318	+2	▲18	302	+3.5%
コアROE	12.4%	12.0%	-	-	11.4%	▲1.0pt
当期利益	534	269	+1	▲18	253	▲52.6%
ROE	22.6%	10.0%	-	-	9.5%	▲13.1pt

<為替レート>	15FY実績	16FY前回予想	16FY修正予想
US \$	JPY 120.45	JPY 115.00	JPY 105.00
Euro	JPY 132.46	JPY 125.00	JPY 115.00
中国元	JPY 19.05	JPY 17.50	JPY 15.00

2016年度 配当予想について

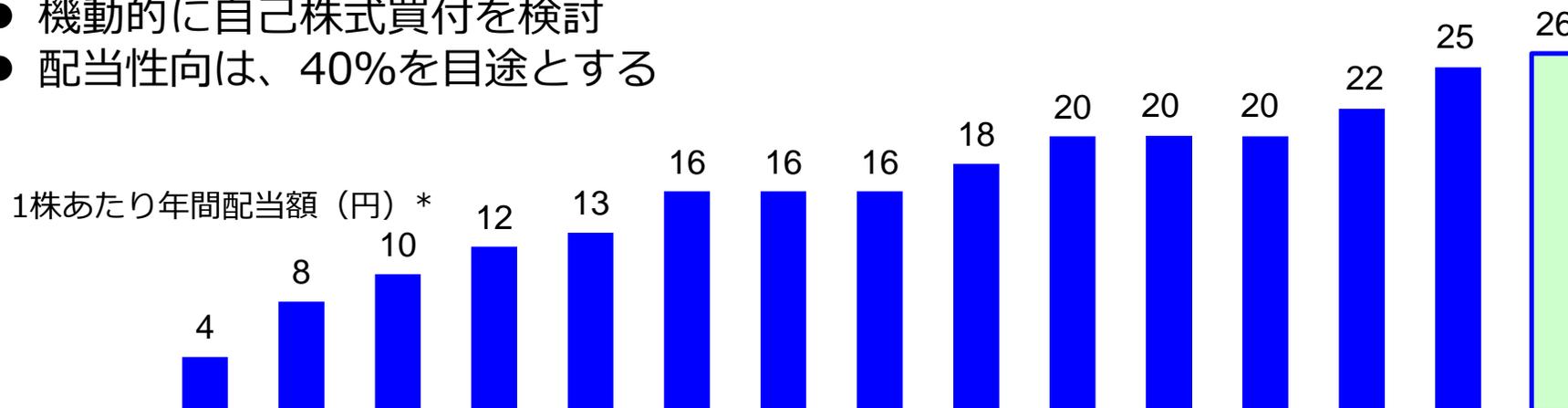
2015年度配当および2016年度配当予想

■ 年間配当

- 2015年度通期：25円
- 2016年度通期予想：26円

■ 2014－2017年度 株主還元基本方針

- 安定的、且つ、持続的な株主還元策を実施
- 研究開発、アライアンス等、将来成長のための資金を確保
- 機動的に自己株式買付を検討
- 配当性向は、40%を目途とする



(年度)	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016予
配当性向 (%) **	21	56	40	40	43	55	67	36	36	51	51	48	38	***19	43
自己株取得額 (億円)	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	0	0	0	-
総還元性向 (%) **	60	56	63	40	43	86	67	36	36	51	134	48	38	19	-

*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割を実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

***2015年配当性向は、抗リウマチ薬事業の権利義務を承継する対価としての一時収入を除くと35.5%

參考資料

2016年度 第1四半期 連結業績概要

セグメント別売上

(単位：億円)	2016年度 第1四半期 実績					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率
医薬品事業	361	+5.2%	131	+0.8%	493	+4.0%
医療用医薬品	332	+3.8%	131	+0.7%	463	+2.9%
眼科薬	331	+13.1%	127	+9.2%	457	+12.0%
その他医薬品	1	+12.2%	4	▲69.8%	6	▲62.9%
一般用医薬品	29	+24.3%	0	+37.0%	30	+24.4%
その他の事業	7	+16.8%	0	+220.9%	7	+20.9%
医療機器	6	+15.5%	0	▲54.1%	6	+13.9%
その他	1	+26.5%	0	-	1	+72.3%
合計	369	+5.4%	132	+1.0%	500	+4.2%

*抗リウマチ薬事業については、2015年8月にあゆみ製薬株式会社に事業承継済み。

連結財政状態計算書

(単位：億円)	2016年3月末		2016年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
非流動資産	1,607	45.2%	1,557	47.3%	▲50
流動資産	1,947	54.8%	1,731	52.7%	▲216
現金及び現金同等物	998	28.1%	745	22.7%	▲253
資産合計	3,554	100.0%	3,288	100.0%	▲266
資本合計	2,600	73.2%	2,563	77.9%	▲38
非流動負債	222	6.2%	235	7.1%	+13
流動負債	732	20.6%	490	14.9%	▲242
負債合計	954	26.8%	725	22.1%	▲229
資本及び負債合計	3,554	100.0%	3,288	100.0%	▲266

・発行済株式数：2016年3月末 414,192千株 → 2016年6月末414,227千株

【主要変動科目】

- 流動資産：現金及び現金同等物▲253(税金支払等)
- 資本：為替換算調整勘定▲46
- 流動負債：未払法人所得税等▲190、金融負債▲46

連結キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：億円)		2015年度 第1四半期 実績	2016年度 第1四半期 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー		▲3	▲143	▲139
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲26	▲41	▲16
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲76	▲47	+29
現金及び現金同等物の増減額		▲105	▲230	▲126
現金等期首残高		659	998	+339
現金及び現金同等物の為替変動による影響		+6	▲22	▲28
現金及び現金同等物の期末残高		561	745	+185

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2015年度		2016年度	
	第1四半期 実績	通期 実績	第1四半期 実績	通期 修正予想
設備投資額	8	45	16	71
減価償却費及び償却費*	7	31	8	35
製品に係る無形資産償却費	14	62	16	71
メルク無形資産償却費	13	52	13	53
アイケルビス無形資産償却費	1	6	2	7

* 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

参考資料

2016年度 通期業績予想の修正

2016年度 セグメント別売上予想の修正

(単位：億円)	2016年度 修正予想					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率
医薬品事業	1,457	+4.7%	511	▲4.3%	1,968	+2.2%
医療用医薬品	1,320	+2.9%	510	▲4.3%	1,829	+0.8%
眼科薬	1,313	+5.8%	496	+2.4%	1,809	+4.8%
その他医薬品	6	+4.6%	14	▲71.5%	20	▲63.0%
一般用医薬品	138	+26.0%	1	+7.9%	138	+25.9%
その他の事業	30	+12.1%	3	+198.4%	32	+17.8%
医療機器	26	+10.9%	1	▲6.2%	26	+10.4%
その他	4	+21.2%	2	-	6	+70.1%
合計	1,487	+4.8%	513	▲4.0%	2,000	+2.4%

2016年度 海外売上・営業利益予想の修正

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度 修正予想		
	売上収益	売上収益*	対前期 増減率	営業利益**
北米	53	17	▲68.1%	▲39
欧州	256	281	+9.8%	46
アジア	226	214	▲5.2%	40
中国	135	114	▲15.6%	
合計	534	513	▲4.0%	47
海外売上収益比率	27.4%	25.7%	▲1.7pt	

* メルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 当社の管理会計基準に基づく営業利益(一部の販管費・研究開発費控除前ベース)。
地域別事業の営業利益は、メルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替後のもの。

IFRSフルベースとコアベースの比較

(単位：億円)	2015年度 実績	2016年度 修正予想
IFRS 営業利益（フルベース）	802	363
ノンコアの控除対象項目	▲371	+78
一部の販売費及び一般管理費	-	+6
製品に係る無形資産償却費	+62	+70
その他の収益	▲450	-
その他の費用	+17	+2
コア営業利益	431	441

IFRS コアベースの定義

IFRS	Core
売上収益	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費
研究開発費	研究開発費
製品に係る無形資産償却費	対象外
その他の収益	対象外
その他の費用	対象外
営業利益	コア営業利益
金融収益 (受取利息・配当、為替差益)	対象外
金融費用 (支払利息、為替差損)	対象外
税引前当期利益	コア税引前当期利益
法人所得税費用	法人所得税費用
当期利益	コア当期利益

コアベースでの業績指標について

- IFRSフルベースから一部の収益、費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す財務指標を採用
- IFRSフルベースによる業績から控除される項目：
製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用、その他経常的に発生しない項目等

参考資料

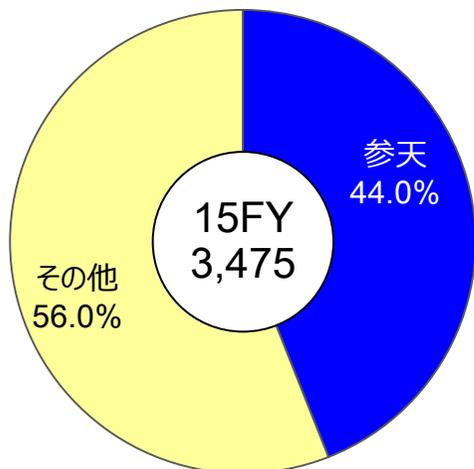
国内医療用眼科薬市場概況

市場概況

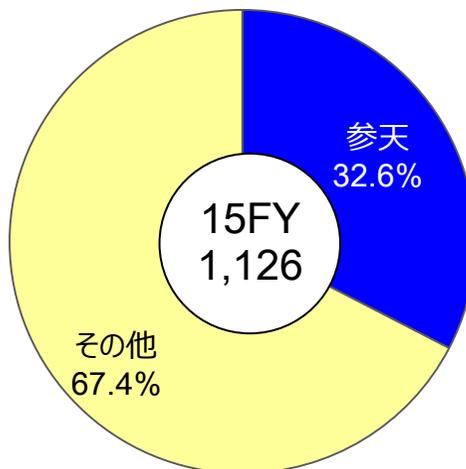
国内医療用眼科薬（眼科計・緑内障・角膜）

市場規模:億円
%: 金額ベース

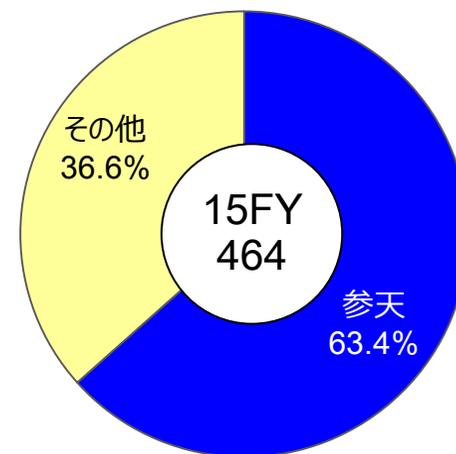
眼科薬計



緑内障・高眼圧症治療剤



角膜疾患治療剤



		15FY	16FY 第1四半期
(金額) 前年比	市場	+7.3%	+1.2%
	参天	+17.6%	+6.7%
参天シェア		44.0%	44.9%

		15FY	16FY 第1四半期
		+6.5%	+4.0%
		+8.4%	+2.6%
		32.6%	32.3%

		15FY	16FY 第1四半期
		+4.9%	▲0.8%
		+1.4%	▲2.6%
		63.4%	62.8%

主な参天製品：

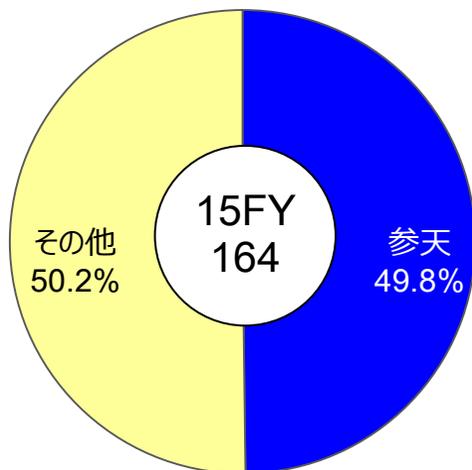
- ・抗緑内障剤：コソプト、タブロス、チモプトール/XE、トルソプト、レスキュラ、タブコム、デタントール
- ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

出典：©2016 IMS Health
IMS-JPM 2014-16を基に参天分析
無断転載禁止

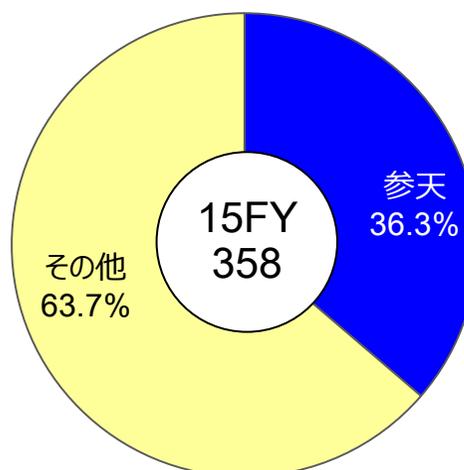
国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー・抗VEGF）

市場規模: 億円
%: 金額ベース

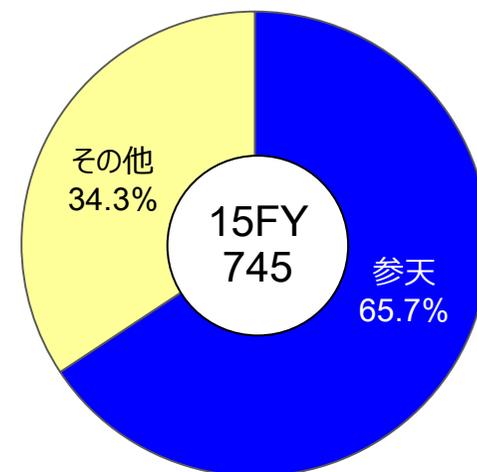
抗菌点眼剤



抗アレルギー剤



抗VEGF剤



		15FY	16FY 第1四半期
(金額) 前年比	市場	▲2.5%	▲9.6%
	参天	▲10.1%	▲19.4%
参天シェア		49.8%	45.5%

		15FY	16FY 第1四半期
		+5.7%	+14.5%
		+19.5%	+26.6%
		36.3%	41.8%

		15FY	16FY 第1四半期
		+20.9%	▲1.3%
		+62.7%	+22.4%
		65.7%	71.2%

-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: アレジオン、リボスチン、アレキサール
- ・抗VEGF剤: アイリーア

出典: ©2016 IMS Health
IMS-JPM 2014-16を基に参天分析
無断転載禁止

参天製薬株式会社

2016年度 第1四半期決算説明会

製品開発の現状



常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー

研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

主要臨床プロジェクト状況一覧①

(2016年8月2日現在)

グローバル品

日本 (アジア) 品

疾患領域	プロジェクト名	作用機序	一般名/製品名	地域	開発ステージ					前四半期からの変更点
					P1	P2	P3	申請	承認・発売	
緑内障・高眼圧症	DE-111	プロスタグランジンF _{2α} 誘導体/β遮断剤	タフルプロスト・チモロールマレイン酸塩	韓国					★	発売
				アジア						
	DE-118	プロスタグランジンF _{2α} 誘導体	タフルプロスト(ミニ)	アジア						
	DE-085	プロスタグランジンF _{2α} 誘導体	タフルプロスト	中国						
	DE-117	EP2受容体作動薬	未定	米国						
				日本			P2b/3			
	DE-090	カルシウム拮抗薬	ロメリジン塩酸塩	日本						
DE-126	FP/EP3受容体デュアル作動薬	Sepetaprost	米国							

主要臨床プロジェクト状況一覧②

(2016年8月2日現在)

グローバル品

日本（アジア）品

疾患領域	プロジェクト名	作用機序	一般名/製品名	地域	開発ステージ					前四半期からの変更点
					P1	P2	P3	申請	承認・発売	
角結膜疾患	Cyclokot	免疫抑制 カチオニック製剤	シクロスポリン /Ikervis	欧州						
				米国						
				韓国						
				アジア						
	DE-089	P2Y ₂ 受容体作動薬	ジクアホソル ナトリウム	中国						
				アジア					★	ベトナム・タイ発売
網膜・ぶどう膜疾患	DE-109	mTOR阻害剤	シロリムス	欧州			★			申請取り下げ 再申請予定
				日本						
				米国						
				アジア						
	DE-120	VEGF/PDGF阻害剤	未定	米国						
DE-122	抗エンドグリン抗体	未定	米国		P1/2					
アレルギー	Vekacia	免疫抑制 カチオニック製剤	シクロスポリン	欧州						

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

The logo for Santen features a stylized 'S' on the left, composed of two overlapping curved shapes in light blue and dark blue. To the right of the 'S' is the word 'Santen' in a bold, dark blue, sans-serif typeface.

Santen

A Clear Vision For Life